

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理面接法		選択	2	3.4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾	B305	atakiguchi	月曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>コミュニケーションの基本を理解し、自分自身のコミュニケーション体験を振り返りながら自分のコミュニケーションパターンを知ることが目的とする。カウンセリング技法を取り入れながら、良好で多様な人間関係を築くためのコミュニケーション・スキルを身につけることを目的とする。</p> <p><概要>コミュニケーションの基本を理解し良好な人間関係を築くための技法を学ぶために、ワークやロールプレイ等の演習を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	ロールプレイ等を用いて体験的に授業を行うため積極的な参加が望ましい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	コミュニケーションの基本的意義を理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)、WP(6)	
②	自分のコミュニケーションパターンを理解し、コミュニケーションに活かすことができる。			WP(4)、(6)	
③	多様な人間関係について理解し、カウンセリング技法を取り入れながら良好なコミュニケーションを行うためのスキルを身につけることができる。			WP(3)、(6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。 コミュニケーションの基本的概念を学ぶ。	講義・演習	授業内容を復習する。	2	
2	コミュニケーションの基本 言語及び非言語コミュニケーションについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
3	コミュニケーションの基本 非言語行動の種類と役割について学ぶ①。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
4	コミュニケーションの基本 非言語行動の種類と役割について学ぶ②。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
5	コミュニケーションの基本 言語及び非言語コミュニケーションのまとめと考察を行う。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	6	
6	コミュニケーション技法の実際 自分のコミュニケーションパターンを知る①。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
7	コミュニケーション技法の実際 自分のコミュニケーションパターンを知る②。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
8	コミュニケーション技法の実際 自分のコミュニケーションパターンのまとめと考察を行う。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	6	
9	対人コミュニケーション技法の実際 話し方の技法について学ぶ①。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
10	対人コミュニケーション技法の実際 話し方の技法について学ぶ②。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
11	対人コミュニケーション技法の実際 話し方の技法について学ぶ③。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	6	
12	対人コミュニケーション技法の応用 傾聴について学ぶ①。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
13	対人コミュニケーション技法の応用 傾聴について学ぶ②。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
14	対人コミュニケーション技法の応用 傾聴について学ぶ③。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
15	総括を行う。	講義・演習	これまでの授業内容を振り返り各自整理する。	13	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	30	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	5	0	5	20
	思考・推論・創造する力	0	10	5	0	5	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	5	10
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取り組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	5	0	5	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポートのテーマは授業内で伝える。授業で体験したことを踏まえながら、出題意図に沿った内容となっているか、文章の構成等について評価する。				コメントを付し返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		ワークへの積極的参加度、スキル、取り組みの姿勢を総合的に評価する。				個人ワークやロールプレイ時にコメントを行い、ワーク後講評及び解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回講義後にリアクションペーパーの提出を求める。個人ワークやロールプレイを実施した体験の振り返りから考えたことや疑問に思ったことなどについて記述してもらう。				毎回授業の最初に前回の授業の振り返りを行い、質問に回答する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	教育相談室及び特別支援学校、クリニックでの発達支援等の現場経験があり、臨床心理士及び公認心理師として 22 年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	専門性と現場経験を活かして、コミュニケーション・スキルに関する基本的知識を分かりやすく教授する。						
そ の 他	大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。						